

都立栞島高等学校 令和5年度(2学年用)

教科 国語 科目 文学国語

教科: 国語

科目: 文学国語

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 7 組

教科担当者: (1組: 望月) (2組: 望月) (3組: 望月) (4組: 若菜)
(5組: 若菜) (6組: 若菜) (7組: 若菜)

使用教科書: (『新編 文学国語』(大修館書店))

教科 国語 の目標:

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		語	書	読					
1 学期 A【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味を持ち、登場人物の言動や話のおもしろさを読み取ろうとしている。 定期考査	「兄の胎食ひたること」(『沙石集』) ・歴史的仮名遣いや動詞の活用について理解する。 ・登場人物の心情の推移を把握する。 ・兄の言動について自身に置き換えて考え、端末を利用しながら他者と共有する。	○	○	○	・古語辞典等を利用して、文語や訓読のきまり、古今異義語や古典特有の表現などについて理解している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を養っている。 ・本文を通釈したうえで、登場人物の心情理解に積極的に取り組み、他者と共有できている。	○	○	○	10
B【知識及び技能】 古典を読むために必要なきまり、特有の表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方や感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味を持ち、登場人物の言動や話のおもしろさを読み取ろうとしている。 定期考査	「かぐや姫の昇天」(『竹取物語』) ・古文の特徴的な表現を意識して現代語に改めたり、文中にある動詞を基本形に直したりすることに慣れる。 ・必要な語句を補って現代語訳をしながら、話のあらましをつかむ。 ・話の内容をしっかりと理解したうえで、かぐや姫の心情の変化を読み取る。	○	○	○	・古典の世界を楽しむために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 ・「人間らしさ」とはどのようなことか、学習の見直しを持って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	12
2 学期 A【知識及び技能】 古典を読むために必要なきまり、特有の表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方や感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の人物像について考察し、主体的に話し合いに参加する。 定期考査	「能登殿最期」(『平家物語』) ・長めの古文に慣れる。 ・尊敬表現から内容理解を深化させる。 ・「語りの文学」の特徴とも言える音便や対句、人物像の対比を理解する。 ・当時の武士の生き方について、時代背景とともに考察する。	○	○	○	・辞書や文法テキストを調べながら、本文を正確に現代語訳できている。 ・尊敬表現に着目して、人物関係の理解に繋がっている。 ・教経と知盛の人物像について、根拠立てて説明できる。 ・教経と知盛の関係性について、時代背景を踏まえた上で考察、分析をしている。	○	○	○	12
B【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や表現の仕方、特色について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味を持ち、小説の文体や登場人物の心情について理解を深める。 定期考査	『山月記』 ・漢文訓読調の文章について、本文の構成や表現の仕方を読み味わう。 ・作品に描かれた登場人物の心の機微を自身に引き付け、考察する。 ・作者・作品と中国古典文学との関わりを知り、典拠となる「人虎伝」との違いを理解する。	○	○	○	・作品の構成や登場人物の描き方、文章表現などを吟味し、自分なりの解釈を持っている。 ・当時の時代背景なども踏まえ、作品の世界観を読み味わっている。 ・「人虎伝」との比較や「臆病な自尊心」「尊大な羞恥心」の解釈を通して、作品の主題について、他者と意見交換をしている。	○	○	○	12
3 学期 A【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味を持ち、自分の周りのできごとと比較しながら作者の考え方を捉えようとしている。 定期考査	「行く河の流れ」(『方丈記』) ・古語や文法の知識を生かして本文を正確に読む。 ・『方丈記』の主題や「無常観」、文体的特徴を踏まえて、その文学史的意義を理解している。 ・作品内の複数の具体例が何をたどっているかを正しく理解し、作者の意図を読み取っている。	○	○	○	・古語や文法の知識を生かして本文を正確に読み、特徴的な文体に慣れ親しんでいる。 ・比喩や具体例、対句や倒置といった表現技巧を正しく理解し、作者が述べようとしていることを適切に読み取ることができる。 ・「無常観」について、自分の経験や身の周りの事例から考え、文章にまとめたり発表したりすることができる。	○	○	○	15
B【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や外国の文化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品の成立背景などを踏まえ、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の用例を調べて発表する課題において、積極的に取り組んでいる。	「四面楚歌」(『史記』) ・漢文訓読の基礎知識を定着させる。 ・故事成語について、本文を正確に読解し、成り立ちを理解する。 ・学んだ故事成語が、実際にどのような場面で用いられるかについて考える。	○	○	○	・漢文訓読のきまりに従って、正しく読解できている。 ・漢文に由来する故事成語が現代の日本語として用いられることについて、具体例をもとに理解できている。 ・故事成語の用例調査に粘り強く取り組み、故事成語を効果的に使えるようになっている。	○	○	○	4
									合計
									70

都立拝島高等学校 令和5年度(1・2学年用)

地理歴史 科目 歴史総合

教科: 地理歴史

科目: 歴史総合

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者: (1,3,4,5,6組: 古川 凌) (2,7組: 小川 正弘)

使用教科書: (山川出版社 現代の歴史総合 みる・読みとく・考える)

教科 地理歴史

の目標:

【知識及び技能】

近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解する。
また、資料やデータから歴史に関する様々な情報を効果的に調べとめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解する。 また、資料やデータから歴史に関する様々な情報を効果的に調べとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 諸資料を通し、なぜ最初の「大戦」になったのか、その要因や戦況の経過を理解する。 ヨーロッパを中心とした戦争が日本やアメリカ合衆国にまで拡大した経緯について理解する。 諸資料からソ連、アメリカ合衆国の特徴や経済状況について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦がそれまでの戦争とどのように異なっているのか。また、第一次世界大戦後の世界はどのように変化していくかを諸資料から考察する。 社会主義の波及を諸外国はなぜ恐れたのかを考察し、表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦の展開や影響について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求する。 	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦の展開 ソヴェト連邦の成立 アメリカ合衆国の台頭 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 諸資料を通し、なぜ最初の「大戦」になったのか、その要因や戦況の経過を理解している。 ヨーロッパを中心とした戦争が日本やアメリカ合衆国にまで拡大した経緯について理解している。 諸資料からソ連、アメリカ合衆国の特徴や経済状況について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦がそれまでの戦争とどのように異なっているのか。また、第一次世界大戦後の世界はどのように変化していくかを諸資料から考察している。 社会主義の波及を諸外国はなぜ恐れたのかを考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦の展開や影響について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。 	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ヴェルサイユ条約やワシントン会議における3条約の内容について理解する。 第一次世界大戦後の世界の経済状況、特に日本の戦後恐慌の原因と経過について理解する。 当時の大衆社会についてグループワークを通して理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> パリ講和会議、ワシントン会議の各国の立場の違いについて風刺画や史料文から考察している。 現在の日本の経済状況と当時の経済状況を相互比較し、考察、表現する。 日本や世界の大衆社会の発展が政治にどのように影響を与えたかを考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦間期の各国の社会経済状況について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求する。 	<ul style="list-style-type: none"> ヴェルサイユ体制とワシントン体制 世界経済の変容と日本 大衆の政治参加 消費社会と大衆文化 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ヴェルサイユ条約やワシントン会議における3条約の内容について理解している。 第一次世界大戦後の世界の経済状況、特に日本の戦後恐慌の原因と経過について理解している。 当時の大衆社会についてグループワークを通して理解を深めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> パリ講和会議、ワシントン会議の各国の立場の違いについて風刺画や史料文から考察している。 現在の日本の経済状況と当時の経済状況を相互比較し、考察、表現している。 日本や世界の大衆社会の発展が政治にどのように影響を与えたかを考察している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦間期の各国の社会経済状況について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。 	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> アメリカ合衆国の恐慌と世界がどのように結びついているか、また、恐慌に向けた各国の財政政策について理解する。 ドイツのヒトラー政権が大衆から支持を受けた社会的背景、日本・ドイツ・イタリアが連携した目的等について理解する。 満州事変以降の戦線拡大の諸要因について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌世界恐慌の時代 ファシズムの伸長と共産主義 日中戦争への道 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> アメリカ合衆国の恐慌と世界がどのように結びついているか、また、恐慌に向けた各国の財政政策について理解している。 ドイツのヒトラー政権が大衆から支持を受けた社会的背景、日本・ドイツ・イタリアが連携した目的等について理解している。 満州事変以降の戦線拡大の諸要因について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> なぜ繁栄の最盛期を迎えていたアメリカ合衆国が... 				

	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> なぜ繁栄の最盛期を迎えていたアメリカ合衆国がこのような事態になってしまったのかを写真や諸資料を通して考察する。 ファシズムの伸長の要因についてグループワークやペアワークを通して理解・考察し、表現することができる。 日本軍部の動きについて当時の情勢を整理し、考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦争の時代に再度突入する展開や流れについて、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求する。 	<p>不図がこのよ様な事態に陥ってしまったのかを写真や諸資料を通して考察している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ファシズムの伸長の要因についてグループワークやペアワークを通して理解・考察し、表現することができる。 日本軍部の動きについて当時の情勢を整理し、考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦争の時代に再度突入する展開や流れについて、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。 	○	○	○	8	
	定期考査		○	○	○	1	
2 学期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 諸資料から、第二次世界大戦の推移、凄惨かつ長期化した背景とその情勢について理解する。 諸資料から、大戦末期の日本の状況とそれを取り巻く米・英・ソの認識、原子爆弾の投下や帝都空襲、沖縄戦などの背景について理解する。 民衆動員が女性や植民地など広大な範囲で展開されたこと、および戦争の被害、組織的虐待などで一般市民の大規模な犠牲が生じたことを理解するとともに、それらの被害に対して一般民衆はどのように立ち向かっていったのかを史料から読み解く。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパで始まった第二次世界大戦にアメリカ合衆国と日本はどのように関わったのか、開戦を防ぐことはできなかったのかを考察し、表現する。 グループワークを通し、第二次世界大戦に関与した国々の思惑や狙いを考察し、表現する。 日本における民間被害の実態を読み解き、その特徴や規模について整理、考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦の展開や影響について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求する。 	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行事前指導 第二次世界大戦の展開 第二次世界大戦下の社会 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 諸資料から、第二次世界大戦の推移、凄惨かつ長期化した背景とその情勢について理解している。 諸資料から、大戦末期の日本の状況とそれを取り巻く米・英・ソの認識、原子爆弾の投下や帝都空襲、沖縄戦などの背景について理解している。 民衆動員が女性や植民地など広大な範囲で展開されたこと、および戦争の被害、組織的虐待などで一般市民の大規模な犠牲が生じたことを理解するとともに、それらの被害に対して一般民衆はどのように立ち向かっていったのかを史料から読み解くことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパで始まった第二次世界大戦にアメリカ合衆国と日本はどのように関わったのか、開戦を防ぐことはできなかったのかを考察し、表現している。 グループワークを通し、第二次世界大戦に関与した国々の思惑や狙いを考察し、表現している。 日本における民間被害の実態を読み解き、その特徴や規模について整理、考察している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦間期の各国の社会状況経済状況について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。 	○	○	○	12
	定期考査		○	○		1	
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアワーク等の活動を通して、国際連合の形成過程や目的、その実情や課題を国際連盟と比較しつつ理解する。 アメリカ合衆国の影響、女性や地主の地位の変化、戦争犯罪人の処罰、日本国憲法成立過程など戦前の政治・社会体制の変革が求められた理由や経緯を理解する。 冷戦の始まりに関する歴史的背景や展開、核開発競争が今後どのように行われていくのかを理解する。 この当時のアメリカ合衆国が 	<ul style="list-style-type: none"> 国際連合と国際経済体制 占領と戦後改革 冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 日本の独立と日米安全保障条約 現代と私たち 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアワーク等の活動を通して、国際連合の形成過程や目的、その実情や課題を国際連盟と比較しつつ理解する。 アメリカ合衆国の影響、女性や地主の地位の変化、戦争犯罪人の処罰、日本国憲法成立過程など戦前の政治・社会体制の変革が求められた理由や経緯を理解する。 冷戦の始まりに関する歴史的背景や展開、核開発競争が今後どのように行われていくのかを理解する。 この当時のアメリカ合衆国が行った政策と関連付けながら、日米安全保障条約の意義課題について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> アメリカ合衆国が第二次世界大戦前と比較 				

3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> このころのアメリカ合衆国が行った政策と関連付けながら、日米安全保障条約の意義と課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アメリカ合衆国が第二次世界大戦前と比較してどのような役割を果たしたのかを考察し、表現する。 戦後の改革が今の私達の生活にどのように結びついているのかを考察し、表現する。 アメリカ合衆国を中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営の動向を結びついたり比較したりして、冷戦の表面化とその特徴を考察し、表現している。 独立後の日本の米軍基地および復帰前の米軍基地をめぐる問題の共通点と相違点を本校付近に位置している横田基地を参考に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 戦後の国際情勢について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求する。 より良い社会の実現を視野に歴史的な見方・考え方を生かそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ合衆国が第二次世界大戦前と比較してどのような役割を果たしたのかを考察し、表現する。 戦後の改革が今の私達の生活にどのように結びついているのかを考察し、表現する。 アメリカ合衆国を中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営の動向を結びついたり比較したりして、冷戦の表面化とその特徴を考察し、表現している。 独立後の日本の米軍基地および復帰前の米軍基地をめぐる問題の共通点と相違点を本校付近に位置している横田基地を参考に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 戦後の国際情勢について、日本を中心に見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求する。 より良い社会の実現を視野に歴史的な見方・考え方を生かそうとする。 	○	○	○	15
	定期考査			○	○	
						62

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科: 数学 科目: 数学Ⅱ 単位数: 4 単位

対象学年組: 第2学年 1組~7組

教科担当者: (由良、川村、高須、中山)

使用教科書: (新編数学Ⅱ 数研出版)

教科 数学 の目標: 数学的な見方や考え方を数学的活動を通じて涵養し、思考する能力を育成する。

【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにす

【思考力、判断力、表現力等】 事象を論理的に考察する力、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 活用しようとする態度、粘り強く考え論拠に基づいて判断しようとする力の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を探索・明確・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察する力、関数に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
			知	思	態	
1学期 第1章 式と証明 【知識及び技能】 式の形に着目して変形し、3次式の因数分解の公式を適用する形にすることができる。 【思考、判断力、表現力】 多項式の割り算の結果を等式で表して考えることができる。 【学びに向かう力、人間性】 恒等式の性質を理解し、具体的な問題に取り組もうとする。	第1節 式と証明 1 3次式の展開と因数分解 2 二項定理 3 多項式の割り算 4 分数式とその計算 5 恒等式	【知識・技能】 二項定理を利用して、展開式やその項の係数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 分数式を分数と同じように約分、通分して扱うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。	○	○	○	12
	第2節 等式・不等式の証明 6 等式の証明 7 不等式の証明	【知識・技能】 実数の大小関係の基本性質に基づいて、自明な不等式を証明することができる。 【思考・判断・表現】 与えられた条件式の利用方法を考え、等式を証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 比例式を含む等式の証明を通じて、加比の理に興味をもち、考察しようとする。	○	○	○	9
	定期考査			○	○	
第2章 複素数と方程式 【知識及び技能】 複素数の相等の定義を理解している。 【思考、判断力、表現力】 異なる2つの実数 α 、 β が正の数、負の数、異符号であることを、同値な式で表現できる。 【学びに向かう力、人間性】 多項式を1次式で割る計算に、組立除法を積極的に利用する。	第1節 複素数と2次方程式の解 1 複素数とその計算 2 2次方程式の解 3 解と係数の関係	【知識・技能】 複素数の四則計算の結果は複素数であることを理解している。 【思考・判断・表現】 判別式を利用して、2次方程式の解の種類を判別することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 2次式を複素数の範囲で因数分解することに興味をもち、問題に取り組もうとする。	○	○	○	12
	第2節 高次方程式 4 剰余の定理と因数分解 5 高次方程式	【知識・技能】 剰余の定理を利用して、多項式を1次式や2次式で割ったときの余りを求めることができる。 【思考・判断・表現】 高次方程式が解 α をもつことを、式を用いて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 1の3乗根の性質に興味・関心をもち、具体的な問題に取り組もうとする。	○	○	○	5
第3章 図形と方程式 【知識及び技能】 x 軸に垂直な直線は $y=mx+n$ の形に表せないことを理解している。 【思考、判断力、表現力】 直線が x 、 y の1次方程式で表されることを理解している。 【学びに向かう力、人間性】 図形の問題を座標平面上で代数的に解決する解法の上を知らうとする。	第1節 点と直線 1 直線上の点 2 平面上の点 3 直線の方程式 4 2直線の関係	【知識・技能】 数直線上において、2点間の距離、線分の内分点、外分点の座標が求められる。 【思考・判断・表現】 図形の性質を証明する際に、計算が簡単になるように座標軸を適切に設定できる。 【学びに向かう力、人間性等】 2直線の交点を通る直線の方程式に興味・関心をもち、具体的な問題に利用しようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	
2学期 第3章 図形と方程式 【知識及び技能】 与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を理解している。 【思考、判断力、表現力】 円と直線の共有点の個数を、2次方程式の実数解の個数で考察することができる。 【学びに向かう力、人間性】 点を満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとする。	第2節 円 5 円と方程式 6 円と直線 7 2つの円	【知識・技能】 2つの円の位置関係と、中心間の距離と半径から、円の方程式を求めることができる。 【思考・判断・表現】 2つの円の位置関係を、中心間の距離と半径の関係で考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 2つの円の交点を通る円の方程式に興味・関心をもち、具体的な問題に利用しようとする。	○	○	○	10
	第3節 軌跡と領域 8 軌跡と方程式 9 不等式の表す領域	【知識・技能】 連立不等式の表す領域を図示することができる。 【思考・判断・表現】 不等式の満たす解を、座標平面上の点の集合としてみることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 少し複雑な不等式の表す領域についても、興味をもち、取り組もうとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	
第4章 三角関数 【知識及び技能】 単位円周上の点の座標を、三角関数を用いて表すことができる。 【思考、判断力、表現力】 三角比の定義を、三角関数の定義に一般化することができる。 【学びに向かう力、人間性】 弧度法に興味をもち、角度の換算に取り組もうとする。	第1節 三角関数 1 角の弧度 2 三角関数 3 三角関数のグラフ 4 三角関数の性質 5 三角関数を含む方程式	【知識及び技能】 扇形の弧の長さや面積の公式を理解している。 【思考、判断力、表現力等】 単位円上の点の動きから、三角関数のグラフを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 周期関数に興味をもち、その性質を調べようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	

4 学期	<p>第4章 三角関数</p> <p>【知識及び技能】 加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。</p> <p>【思考、判断力、表現力】 角を弧度法で表した場合にも、加法定理が適用できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 加法定理の証明について、一般角に対しても成り立つことに興味をもち、考察しようとする。</p>	<p>第2節 加法定理</p> <p>6 加法定理</p> <p>7 加法定理の応用</p>	<p>【知識及び技能】 三角関数の合成について理解している。</p> <p>【思考、判断力、表現力等】 2倍角の公式を利用して、三角関数を含むやや複雑な方程式・不等式の角を統一して考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 同じ周期をもつ2つの関数$y=\sin x$と$y=\cos x$を合成するとそのグラフは位相がずれた正弦曲線になることに興味・関心をもつ。</p>	○	○	○	10
	<p>第5章 指数関数と対数関数</p> <p>【知識及び技能】 指数と対数を相互に書き換えることができる。</p> <p>【思考、判断力、表現力】 指数法則から、対数の性質を考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 指数関数のグラフの概形を、点をプロットしてかこうとする意欲がある。</p>	<p>第1節 指数関数</p> <p>1 指数の拡張</p> <p>2 指数関数</p>	<p>【知識・技能】 指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。</p> <p>【思考・表現】 指数関数の増減によって、大小関係や不等式・方程式を考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 累乗根の性質に興味を示し、具体的に証明しようとする。</p>	○	○	○	9
		<p>第2節 対数関数</p> <p>3 対数とその性質</p> <p>4 対数関数</p> <p>5 常用対数</p>	<p>【知識・技能】 対数の性質に基づいた種々の対数の値の計算ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 対数と指数の関係から、両者のグラフが互いに直線$y=x$に関して対称であるという見方ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実世界の問題を、常用対数を用いて考察しようとする。</p>	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
3 学期	<p>第6章 微分法と積分法</p> <p>【知識及び技能】 定義に基づいて導関数を求める方法を理解している。</p> <p>【思考、判断力、表現力等】 微分法の逆演算としての不定積分を考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 積分法が微分法の逆演算であることから、不定積分を求めようとする。</p>	<p>第1節 微分法</p> <p>1 微分係数</p> <p>2 導関数とその計算</p> <p>3 接線の方程式</p>	<p>【知識・技能】 微分係数の図形的意味を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 導関数を表す種々の記号を理解して、それらを適切に使うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 曲線外の点から曲線に引いた接線の方程式を求めようとする。</p>	○	○	○	10
		<p>第2節 関数の変化</p> <p>4 関数の増減と極大・極小</p> <p>5 関数の増減・グラフの応用</p>	<p>【知識・技能】 導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかいたりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 方程式の実数解の個数を、関数のグラフとx軸の共有点の個数に読み替えて考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 方程式や不等式を関数的視点で捉え、微分法を利用して解決しようとする。</p>	○	○	○	10
		<p>第3節 積分法</p> <p>6 不定積分</p> <p>7 定積分</p> <p>8 定積分と面積</p>	<p>【知識・技能】 不定積分の定義や性質を理解し、それを利用する不定積分の計算方法を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 面積を求める際には、グラフの上下関係、積分範囲などを、図をかいて考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分を用いて求めようとする。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
						合計	140

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学演習

教科： 数学 科目： 数学演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （1組・3組～7組：松谷幸 2組：川村拓也）

使用教科書： （新編数学Ⅰ 数研出版）

教科 数学 の目標： 数学的な見方や考え方を数学的活動を通じて涵養し、思考する能力を育成する。

【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】事象を論理的に考察する力、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】活用しようとする態度、粘り強く考え論拠に基づいて判断しようとする力の基礎を養う。

科目 数学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形と計量及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 単項式・多項式の用語を理解する。多項式の加法・減法ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 単項式、多項式の式を整理する。	第1章 式と計算 整式の加法と減法 【知識及び技能】 単項式、多項式、同類項などの用語。降べきの順に整理。多項式の加法・減法。 【学びに向かう力、人間性等】 式を目的に応じて1つの文字に着目して整理する。	【知識及び技能】 単項式や多項式、同類項、次数など式に関する用語を理解している。 多項式について、同類項をまとめたり、ある文字に着目して降べきの順に整理したりすることができる。 多項式の加法、減法の計算ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 単項式、多項式とその整理の仕方に関心をもち、考察しようとする。	○		○	7
	【知識及び技能】 指数法則、多項式の計算ができるようになる。因数分解の公式を扱えるようになる。 【思考、判断力、表現力】 複雑な展開、因数分解を扱える。 【学びに向かう力、人間性等】 展開と因数分解の関係に着目する。	整式の乗法・因数分解 【知識及び技能】 指数法則、多項式の計算。因数分解の公式。 【思考力、判断力、表現力等】 式の形の特徴に着目して変形する展開の公式。文字のおき換えの因数分解。 【学びに向かう力、人間性等】 展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用する。	【知識・技能】 乗法の計算、展開の公式、因数分解の公式を利用できる。 【思考・判断・表現】 式の展開、因数分解の公式を適用できるようにすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 多項式の乗法には、分配法則が使えることに関心をもち、展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 根号を含む加法、減法、乗法の計算ができるようになる。 【思考、判断力、表現力】 根号を含む式の計算ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 根号を含む式の計算公式を証明する。	実数・根号を含む式の計算 【知識及び技能】 有理数の定義。平方根の意味、性質。根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。分母の有理化。 【思考力、判断力、表現力等】 根号を含む式の計算についての一般化 【学びに向かう力、人間性等】 根号を含む式の計算公式。	【知識・技能】 平方根の意味、性質を理解している。根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。また、分母の有理化ができる。 【思考・判断・表現】 根号を含む式の計算について、一般化して考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 根号を含む式の計算公式を証明しようとする。	○	○	○	6
	【知識及び技能】 不等式の意味を知る。 【思考、判断力、表現力等】 1次不等式を解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 1次不等式の具体的な利用方法を理解する。	不等式の性質・1次不等式 【知識及び技能】 不等式の解の意味や不等式の性質。 【思考力、判断力、表現力等】 1次不等式の解法。連立不等式の解法。 【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式。	【知識・技能】 1次不等式、連立1次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 $A < B < C$ を $A < B$ かつ $B < C$ として捉えることができ、不等式を解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 不等式における解の意味について考察しようとする。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1	
2 学 期	【知識及び技能】 グラフの平行移動を理解し、平方完成することができる。 【思考、判断力、表現力等】 2次関数の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 放物線の利用を考える。	第3章 2次関数 2次関数のグラフ 【知識及び技能】 $y=f(x)$ の表記。グラフの平行移動。平方完成。 【思考、判断力、表現力等】 2次関数の特徴。頂点の移動。 【学びに向かう力、人間性等】 放物線のもつ性質。	【知識・技能】 グラフの表記について、平行移動とともに理解している。平方完成を利用して、軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の特徴について、多面的に考察することができる。 放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 放物線のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとする。	○	○	○	11
	【知識及び技能】 2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 【思考、判断力、表現力等】 2次関数の最大値、最小値の意味を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の最大値、最小値の活用を考えることができる。	2次関数の最大・最小 【知識及び技能】 2次関数の最大値・最小値。定義域がある最大値・最小値。 【思考、判断力、表現力等】 2次関数の値の変化。定義域の変化。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の最大・最小の考えの活用。	【知識・技能】 2次関数が最大値または最小値をもつことを理解している。定義域に制限がある場合に、最大値、最小値をもとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の値の変化をグラフから考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活における具体的な事象を考察し、活用しようとする。	○	○	○	7
	【知識及び技能】 条件を代入し、2次関数の式を決めることができる。 【思考、判断力、表現力等】 条件に適した式を判断できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 条件に関心をもち。	2次関数の決定 【知識及び技能】 与えられた条件から2次関数を決定する。 【思考、判断力、表現力等】 条件を処理するのに適した形を判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の決定の考察。	【知識・技能】 与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定することができる。連立3元1次方程式の解き方を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 条件を処理するのに適した式の形を判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 条件に興味、関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】実験・観察などを通して基本的な操作や危険性を理解し身につける。

【思考力、判断力、表現力等】中学校で学習した理科との結びつきを基礎として、根拠に基づいた自分の考えを持ち表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】社会の中における理科の役割に興味を持ち、積極的に学ぶ姿勢を持っている。

科目 生物基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付ける。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法を習得する。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力を育む。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度が養われる。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われる。

1 学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
				○	○	○	
	<p>A 生物の多様性と共通性</p> <p>【知識・技能】 生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解させる。 【思考・判断・表現】 生物に共通する性質を見だし、生物が共通性を保ちながら進化し多様化したこと、共通性は起源の共有に由来することを理解し、表現できる。 細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解させる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1. 生物の多様性と共通性 2. 生物の共通性と進化 3. 細胞・細胞の観察 ・高校生物基礎 実教出版 ・ワークシート、ポートフォリオ</p>	<p>【知識・技能】 生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 【思考・判断・表現】 生物に共通する性質を見だし表現することができる。 生物が共通性を保ちながら進化し多様化したこと、共通性は起源の共有に由来することを説明できる。 細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解しようとする。</p>	○	○	○	8
	<p>B 細胞とエネルギー</p> <p>【知識及び技能】 生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解させる。 体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できるようにする。 カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出させる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解させる。また、呼吸や光合成から得ていることを理解させる。 体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解させる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1. 代謝とエネルギー 2. 酵素と代謝 3. 光合成 4. 呼吸 5. エネルギーの流れ ・高校生物基礎 実教出版 ・ワークシート、ポートフォリオ</p>	<p>【知識及び技能】 生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できる。 カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。</p>	○	○	○	6
	<p>定期考査</p>			○	○		1
	<p>C 遺伝情報とDNA</p> <p>【知識及び技能】 DNAが二重らせん構造であること、そのため、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解させる。 ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解させる。 体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 資料に基づき、DNAの構造を科学的に見いださせる。 DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解させる。 ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解させる。 細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見だし、理解させる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1. 遺伝子の本体 2. DNAの複製と分配 ・高校生物基礎 実教出版 ・ワークシート、ポートフォリオ</p>	<p>【知識及び技能】 DNAが二重らせん構造であること、そのため、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。 体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 資料に基づき、DNAの構造を科学的に見いだすことができる。 DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。 細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見だし、理解しようとする。</p>	○	○	○	8
	<p>D 遺伝情報とタンパク質</p> <p>【知識及び技能】 さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっており、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解させる。 DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解させる。 遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解させる。 試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できるようにする。 DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解させる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1. 遺伝子とタンパク質 2. タンパク質の合成 3. 遺伝子の発現 4. ゲノムと遺伝子 ・高校生物基礎 実教出版 ・ワークシート、ポートフォリオ</p>	<p>【知識及び技能】 さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっており、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解している。 DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解している。 試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技術を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。 DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。</p>	○	○	○	6
	<p>定期考査</p>			○	○		1

都立拝島高等学校 令和5年度(2学年用)

教科

保健体育

科目

体育

教科：保健体育

科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組 女子

教科担当者：(1組：日野、吉川)(2組：日野、吉川)(3組：日野、吉川)(4組：日野、吉川)(5組：日野、吉川)(6組：日野、吉川)(7組：日野、吉川)

使用教科書：()

教科 保健体育

の目標：

- 【知識及び技能】それぞれの運動の特性に応じた技能や健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする
- 【思考力、判断力、表現力等】運動・健康についての課題を発見し、その解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝える力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって運動に親しむ態度や健康の保持増進、体力の向上を目指す態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるよう	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 体力テスト 【知識及び技能】 授業の流れを理解するとともに、体力テストの意義を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の体力の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら、活動に積極的	・体力テストの意義の理解 ・各種目の測定 ・自己の体力、運動能力の把握	A 体づくり運動	・体力テストの意義について理解している。 ・各測定に積極的に取り組もうとしている。 ・自己の体力の特徴を知り、その向上のために何が必要かを考えることができる。	○	○	○	8
	B 体育祭練習 【知識及び技能】 体育祭に向け、各種目の記録の向上を目指す。 【思考力、判断力、表現力等】 クラスの課題を見つけ、その解決に向けて練習を工夫することができる。	・大縄跳び ・全員リレー	A 体づくり運動	・体育祭に向け、仲間と協力して活動に取り組むことができる。 ・記録の向上に向け、何が必要かを考え、行動することができる。	○	○	○	8
	C 水泳 【知識及び技能】 水泳や水の特性を理解するとともに、基本的な泳法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。	・25mのタイム測定 ・時間泳 ・水泳や水の特性についての理解	D 水泳	・安全に注意して、仲間と協力しながら活動に取り組むことができる。 ・自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。 ・水泳や水の特性を理解することができる。	○	○	○	14
2 学 期	D ソフトボール 【知識及び技能】 ゲームのルールや技術について理解するとともに、投げる、捕る、打つ等の基本的な動作を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を見つけ、その解決に向けて練習方法を工夫する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と教え合いながら、活動に主体的に取り組む態度を育む。	・キャッチボール ・バッティング ・ゲームのルールの理解	E 球技	・ゲームのルールや技術について理解するとともに、投げる、捕る、打つ等の基本的な動作を身に付けることができる。 ・自己やチームの課題を見つけ、その解決に向けて練習方法を工夫することができる。 ・仲間と教え合いながら、活動に主体的に取り組むことができる。	○	○	○	10
	E ダンス 【知識及び技能】 リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化のまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 創作したダンスについて、自己や仲間の動きや表現を分析して、良い点や修正点を指摘することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保することができるようになる。	・ステップ ・ターン ・カノン ・ユニゾン ・創作ダンス ・グループ発表	G ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化のまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ることができる。 ・創作したダンスについて、自己や仲間の動きや表現を分析して、良い点や修正点を指摘することができる。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10
	F フットサル 【知識及び技能】 フットサルの特性やルールについて理解するとともに、ボールを足でコントロールしながらパスやシュートを行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】	・インサイドパスの蹴り方 ・シュートの仕方 ・試合中の動き方 ・ゲームのルール理解		・フットサルの特性やルールについて理解するとともに、ボールを足でコントロールしながらパスやシュートを行うことができる。 ・自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫することができる。 ・活動に対して自ら進んで取り組むことができる。				

3 学 期	<p>自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に対して自ら進んで取り組む態度を養う。</p>		E 球技			○	○	○	8
	<p>G 体育理論 【知識及び技能】 運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めるとともに運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の状況によって体力の向上を図る能力を育てる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの発祥と発展 ・運動・スポーツの学び方 ・豊かなスポーツライフの設計 	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの特徴、歴史、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。 ・生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ・運動の楽しさや喜びを味わいながら、学習に主体的に取り組もうとしている。 		○	○	○	4
	<p>H 長距離走 【知識及び技能】 ペースの変化に応じて走ったり、上下動が少なくリラックスしてリズムカルな走りをする力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技の楽しさや喜びを味わいながら、主体的に活動に取り組む態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・距離走 ・ペース走 	C 陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・ペースの変化に応じて走ったり、上下動が少なくリラックスしてリズムカルな走りをする事ができる。 ・自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫することができる。 ・陸上競技の楽しさや喜びを味わいながら、主体的に活動に取り組むことができる。 		○	○	○	8
合計									70

都立拝島高等学校 令和5年度(2学年用)

教科

保健体育

科目 体育

教科：保健体育

科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組 男子

教科担当者：(1組：日野、野々(2組：日野、野々(3組：日野、野々(4組：日野、野々(5組：日野、野々(6組：日野、野々(7組：日野、野々

使用教科書：()

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】それぞれの運動の特性に応じた技能や健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにす
【思考力、判断力、表現力等】運動・健康についての課題を発見し、その解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝える力を養う
【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって運動に親しむ態度や健康の保持増進、体力の向上を目指す態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるよう	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A 体力テスト 【知識及び技能】 授業の流れを理解するとともに、体力テストの意義を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の体力の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら、活動に積極的に参加する。	・体力テストの意義の理解 ・各種目の測定 ・自己の体力、運動能力の把握	A 体づくり運動	・体力テストの意義について理解している。 ・各測定に積極的に取り組もうとしている。 ・自己の体力の特徴を知り、その向上のために何が必要か考えることができる。	○	○	○	8
	B 体育祭練習 【知識及び技能】 体育祭に向け、各種目の記録の向上を目指す。 【思考力、判断力、表現力等】 クラスの課題を見つけ、その解決に向けて練習を工夫することができる。	・大縄跳び ・全員リレー	A 体づくり運動	・体育祭に向け、仲間と協力して活動に取り組むことができる。 ・記録の向上に向け、何が必要かを考え、行動することができる。		○	○	8
	C 水泳 【知識及び技能】 水泳や水の特性を理解するとともに、基本的な泳法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。	・25mのタイム測定 ・時間泳 ・水泳や水の特性についての理解	D 水泳	・安全に注意して、仲間と協力しながら活動に取り組むことができる。 ・自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。 ・水泳や水の特性を理解することができる。	○	○	○	14
2 学期	D バレーボール 【知識及び技能】 バレーボールのルール等を理解するとともに、サーブ、レシーブ、トス、アタックなどの基本動作を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を見つけ、その解決へ向け練習等を工夫できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 バレーボールの楽しさや喜びを味わうとともに、学習に主体的に取り組む態度を養う。	・サーブ ・レシーブ ・トス ・アタック ・ゲームのルールの理解	E 球技	・バレーボールの特性を理解するとともに、サーブ、レシーブ、トス、アタックなどの基本的な技能を身に付けることができる。 ・仲間と協働し、作戦などを考えることができる。 ・仲間と声を掛け合いながら、主体的に活動に取り組むことができる。	○	○	○	10
	E 柔道 【知識及び技能】 バレーボールのルール等を理解するとともに、サーブ、レシーブ、トス、アタックなどの基本動作を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を見つけ、その解決へ向け練習等を工夫できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 バレーボールの楽しさや喜びを味わうとともに、学習に主体的に取り組む態度を養う。	・礼法 ・後ろ受け身 ・横受け身 ・前回り受け身 ・投げ技(大腰、体落とし)	F 武道	・武道の特性や、礼法、所作等を理解し、尊重することができる。 ・自分の課題を設定し、その解決に向け、動き等を工夫することができる。 ・武道に対して真摯に向き合い、相手を尊重することで自他共栄の精神を実践することができる。	○	○	○	10
F ハンドボール 【知識及び技能】 バドミントンの特性やルールについて理解するとともに、シャトルをコントロールしながらラリーをすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】	・パス ・ドリブル ・シュート ・ドリブルからのシュート ・種目の特性とルールの理解		・ハンドボールの特性を理解するとともに、パス、ドリブル、シュートなどの基本的な技能を身に付けることができる。 ・仲間と協働し、作戦などを考えることができる。 ・仲間と声を掛け合いながら、主体的に活動に取り組むことができる。					

3 学 期	<p>自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 活動に対して自ら進んで取り組む態度を養う。</p>		E 球技		○	○	○	8
	<p>G 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めるとともに運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の状況によって体力の向上を図る能力を育てる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの発祥と発展 ・運動・スポーツの学び方 ・豊かなスポーツライフの設計 	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの特徴、歴史、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。 ・生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ・運動の楽しさや喜びを味わいながら、学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	4
	<p>H 長距離走</p> <p>【知識及び技能】 ペースの変化に応じて走ったり、上下動が少なくリラックスしてリズムカルな走りをする力を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技の楽しさや喜びを味わいながら、主体的に活動に取り組む態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・距離走 ・ペース走 	C 陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・ペースの変化に応じて走ったり、上下動が少なくリラックスしてリズムカルな走りをすることができる。 ・自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫することができる。 ・陸上競技の楽しさや喜びを味わいながら、主体的に活動に取り組むことができる。 	○	○	○	8

合計

70

都立拝島高等学校 令和5年度(1・2学年用)

保健体育 科目 保健

教科: 保健体育

科目: 保健

単位数: 1 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組~ 7 組

教科担当者: (1組: 吉川) (2組: 野々垣) (3組: 日野) (4組: 日野) (5組: 野々垣) (6組: 野々垣) (7組: 野々垣)

使用教科書: (新高等保健体育 大修館書店)

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】健康を保持増進するための管理の重要性と環境

【思考力、判断力、表現力等】生活の質の向上に向けた課題解決

【学びに向かう力、人間性等】健康の課題解決に向けた学習に主体的に取り組む態度

科目 保健 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解できるようにする。	生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを説明することができるようにする。	生涯を通じる健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて説明するなどの学習活動に主体的に取り組むことができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 思春期と健康 【知識及び技能】 思春期には、心身の発達に伴い健康課題が生じることなどについて理解し、内容をワークシートなどにまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 思春期と健康について、自他や社会の課題を発見し、内容をワークシートなどにまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークの中で積極的に発言し、思春期の健康について意見交換することができる。</p>	<p>教科書: 新高等保健体育 使用教具: プリント, パワーポイント 学習形態: 一斉学習, ペア・グループワーク その他: 一人一台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 思春期の心身の発達と健康課題への理解 【思考・判断・表現】 思春期の健康課題の対策についての考え 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性</p>	○	○	○	4
<p>B 性意識の変化と性行動の選択 【知識及び技能】 性意識の個人差について理解し、自分の行動への責任感や性のあり方の理解と尊重の必要性などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 性に関する意思決定・行動選択には性情報への適切な対処が必要であることを理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 思春期における性に関する意思決定・行動選択の課題を発見し、その対策について考え行動する。</p>	<p>教科書: 新高等保健体育 使用教具: プリント, パワーポイント 学習形態: 一斉学習, ペア・グループワーク, Formsを用いたアンケート その他: 一人一台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 性意識の個人差・男女差についての理解 【思考・判断・表現】 性情報の取扱い・受け取り方についての考え 【主体的に学習に取り組む態度】 アンケートやペアワーク, グループワークへの取り組み状況</p>	○	○	○	4
<p>C 結婚生活と健康 【知識及び技能】 夫婦や親子の良好な関係を築き、安定した結婚生活を送るために必要な要因について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 妊娠や出産, 育児を含む結婚生活における健康課題を発見し、その対策について考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 安定した結婚生活を送るための要因や結婚生活における健康課題についてグループワークなどで発言することができる。</p>	<p>教科書: 新高等保健体育 使用教具: プリント, パワーポイント 学習形態: 一斉学習, ペア・グループワーク, Formsを用いたアンケート その他: 一人一台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 安定した結婚生活を送るために必要な要因についての理解 【思考・判断・表現】 結婚生活における健康課題とその対策についての考え 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性</p>	○	○	○	3
<p>D 妊娠・出産と健康 【知識及び技能】 受精から出産までの過程をそれに伴う健康課題について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 妊娠や出産の過程で起こり得る健康課題の対策について考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 妊娠・出産の過程で起こり得る健康課題について理解し、その対策についてグループワークなどで発言できる。</p>	<p>教科書: 新高等保健体育 使用教具: プリント, パワーポイント 学習形態: 一斉学習, ペア・グループワーク, Formsを用いたアンケート その他: 一人一台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 受精から出産までの過程とそれに伴う健康課題についての理解 【思考・判断・表現】 妊娠や出産の過程で起こり得る健康課題の対策についての考え 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性</p>	○	○	○	2
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>A 家族計画 【知識及び技能】 家族計画の意義とその重要性について、また、避妊の方法についてきちんと理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 家族計画を立てる際に起こり得る健康課題について理解し、その対策についてグループワークなどで発言できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 家族計画を立てる上での注意点や健康課題について理解し、そのことについてグループワークなどで発言できる。</p>	<p>教科書: 新高等保健体育 使用教具: プリント, パワーポイント 学習形態: 一斉学習, ペア・グループワーク, Formsを用いたアンケート その他: 一人一台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 家族計画の意義とその重要性について、避妊の方法についての理解 【思考・判断・表現】 家族計画を立てる際に起こり得る健康課題の対策についての考え 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性</p>	○	○	○	4

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	B 加齢と健康、高齢社会に対応した取り組み 【知識及び技能】 加齢による心身の変化や高齢期の健康課題について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 若者と高齢者が社会において交流し、お互いを理解する具体的な方法を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 加齢による心身の変化や高齢期の健康課題について理解し、グループワークなどで発言することができる。	教科書：新高等保健体育 使用教具：プリント、パワーポイント 学習形態：一斉学習、ペア・グループワーク、Formsを用いたアンケート その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 加齢による心身の変化や高齢期の健康課題についての理解 【思考・判断・表現】 若者と高齢者の交流についての考え 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性	○	○	○	4
	C 働くことと健康 【知識及び技能】 働くことの意義と働き方の多様化について理解できる。 【思考力、判断力、表現力】 働き方が多様化している現代における働く人の健康課題について考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 働く人の健康課題について考え、グループワークなどで発言することができる。	教科書：新高等保健体育 使用教具：プリント、パワーポイント 学習形態：一斉学習、ペア・グループワーク、Formsを用いたアンケート その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 働く意義と働き方の多様化についての理解 【思考・判断・表現】 働く人の健康課題に関する考え 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A 労働災害の防止、働く人の健康づくり 【知識及び技能】 労働災害の防止方法とメンタルヘルスクエアが重要視されていることなどについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 労働災害防止のために必要な個人的・社会的対策について考えられる。また、働く人の生活の質向上について考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 労働災害防止方法や生活の質向上についてグループワークなどで発言することができる。	教科書：新高等保健体育 使用教具：プリント、パワーポイント 学習形態：一斉学習、ペア・グループワーク、Formsを用いたアンケート その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 家族計画の意義とその重要性について、避妊の方法についての理解 【思考・判断・表現】 家族計画を立てる際に起こり得る健康課題の対策についての考え 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性	○	○	○	3
	B 環境と健康 【知識及び技能】 人間の生活や産業活動が公害を引き起こし、健康被害をもたらすことがあることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 地球規模の環境問題への個人と社会での対策を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 公害と環境問題について理解し、その対策についてグループワークなどで発言することができる。	教科書：新高等保健体育 使用教具：プリント、パワーポイント 学習形態：一斉学習、ペア・グループワーク、Formsを用いたアンケート その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 四大公害はじめとする公害問題と環境問題への理解 【思考・判断・表現】 環境問題への個人的・社会的な対策についての考え 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性	○	○	○	3
	C 健康被害を防ぐための環境対策 【知識及び技能】 環境汚染による健康被害の予防策について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 環境汚染対策について考え評価することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境汚染による健康被害の予防策について理解し、グループワークなどで発言することができる。	教科書：新高等保健体育 使用教具：プリント、パワーポイント 学習形態：一斉学習、ペア・グループワーク、Formsを用いたアンケート その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 環境汚染による健康被害の予防策への理解 【思考・判断・表現】 環境汚染対策に関する評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークの中での発言や行動の積極性	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1 合計
						35	

都立坪島高等学校 令和5年度(2学年)

教科

芸術

科目

音楽

教科: 芸術

科目: 音楽

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 7 組

教科担当者: (1・2組: 原田徹) (3-4組: 原田徹) (3・4組: 原田徹) (5・6組: 原田徹) (7組: 原田徹)

使用教科書: (教育芸術社 高校生の音楽Ⅱ)

教科 芸術 の目標:

- 【知識及び技能】 曲想と音色と奏法のかかわりを意識して技術を向上させることが出来る。
- 【思考力、判断力、表現力等】 音楽の諸要素を知覚し、それらが生み出す曲想や美しさを感じ取って表現することが出来る。
- 【学びに向かう力、人間性等】 音楽の特質や様々なことに関心を持ち意欲的に取り組むことが出来る。

科目 音楽 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。創意工夫を生かした音楽表現をすすめるために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	①音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさ自ら味わって聴いたりして	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養う。 (2) 基礎的な表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育てる。(3) 多様な音楽に興味・関心をもち、幅広く鑑賞する能力を育てる。	①発声練習(校歌) ②楽典聴音(2小節) ③リズム(ドラム8番まで) ④器楽(ウクレレ) C、F、G7を基本とした弾き歌い。埴生の宿、聖夜、浜千鳥、荒城の月、TRUELOVE ④鑑賞 THEPIANIST	○	○	○	○	①しっかりと発声で自信をもって発生しているか。②筆記試験(授業内評価) ③実技試験③弾き歌いテスト。しっかりとコードを押さえて自分の伴奏で豊かな発声で弾き歌いができているか。④主体的な鑑賞から様々な感性をもって鑑賞できているかをレポート提出。	○	○	○	6
(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養う。 (2) 基礎的な表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育てる。(3) 多様な音楽に興味・関心をもち、幅広く鑑賞する能力を育てる。	①発声練習(校歌) ②楽典聴音(2小節) ③リズム(ドラム8番まで) ④器楽(ウクレレ) C、F、G8を基本とした弾き歌い。埴生の宿、聖夜、浜千鳥、荒城の月、TRUELOVE、この広い野原いっぱい ④鑑賞 THEPIANIST	○	○	○	○	①しっかりと発声で自信をもって発生しているか。②筆記試験(授業内評価) ③実技試験③弾き歌いテスト。しっかりとコードを押さえて自分の伴奏で豊かな発声で弾き歌いができているか。④主体的な鑑賞から様々な感性をもって鑑賞できているかをレポート提出。	○	○	○	6
(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養う。 (2) 基礎的な表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育てる。(3) 多様な音楽に興味・関心をもち、幅広く鑑賞する能力を育てる。	①発声練習(校歌) ②楽典聴音(2小節) ③リズム(ドラム8番まで) ④器楽(ウクレレ) C、F、G8を基本とした弾き歌い。埴生の宿、聖夜、浜千鳥、荒城の月、TRUELOVE、この広い野原いっぱい ④鑑賞 THEPIANIST	○	○	○	○	①しっかりと発声で自信をもって発生しているか。②筆記試験(授業内評価) ③実技試験③弾き歌いテスト。しっかりとコードを押さえて自分の伴奏で豊かな発声で弾き歌いができているか。④主体的な鑑賞から様々な感性をもって鑑賞できているかをレポート提出。	○	○	○	6
(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養う。 (2) 基礎的な表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育てる。(3) 多様な音楽に興味・関心をもち、幅広く鑑賞する能力を育てる。	①発声練習(校歌) ②楽典聴音(2小節) ③リズム(ドラム8番まで) ④器楽(ウクレレ) C、F、G10を基本とした弾き歌い。埴生の宿、聖夜、浜千鳥、荒城の月、TRUELOVE、この広い野原いっぱい、アロハオエ ④鑑賞 ROMEO E JURITTA	○	○	○	○	①しっかりと発声で自信をもって発生しているか。②筆記試験(授業内評価) ③実技試験③弾き歌いテスト。しっかりとコードを押さえて自分の伴奏で豊かな発声で弾き歌いができているか。④主体的な鑑賞から様々な感性をもって鑑賞できているかをレポート提出。	○	○	○	6
(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養う。	①発声練習(校歌) ②楽典聴音(2小節) ③リズム(ドラム8番まで) ④器楽(ウクレレ) C、					①しっかりと発声で自信をもって発生しているか。②筆記試験(授業内評価) ③実技試験③弾				

1 学期

都立拝島高等学校 令和5年度(1・2学年用) 教外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーションⅡ 単位数: 4 単位

対象学年組: 第2学年 1組~ 7組

教科担当者: (1組: 豊田・吉岡・竹村) (2組: 豊田・吉岡) (3組: 吉岡・竹村・豊田) (4組: 吉岡・竹村) (5組: 吉岡・豊田)
(6組: 長野・豊田・竹村) (3組: 長野・竹村・吉岡)

使用教科書: VISTA Communication English II (三省堂) VISTA Communication English II (三省堂) be English Grammar23 workbook (いづな書店) フレーズで英単語Cheer 3000 (いづな書店) Big Dipper English Expression (数研出版)

教科 外国語

の目標:

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くことと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的・基本的な外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、基礎的・基本的な話題について外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して基礎的な内容を適切に表現し	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、基礎的・基本的なことを、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
[World Dance Performance] 【知識及び技能】 動詞+目的語+to 不定詞・疑問詞+to 不定詞を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 動詞+目的語+to 不定詞・疑問詞+to 不定詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 各国の伝統舞踊について、その違いや文化との結びつきについて考えさせる。	・各国の伝統舞踊について、その違いや文化との結びつきを知る。 ・動詞+目的語+to 不定詞・疑問詞+to 不定詞を理解する。 ・ダンスやりとりする。	・各国の伝統舞踊について、聞いて概要を把握できる。 ・各国の伝統舞踊について、読んで概要を把握できる。 ・各国の伝統舞踊について、話して伝え合うことができる。 ・動詞+目的語+to 不定詞・疑問詞+to 不定詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	10
[A Piece of Cake] 【知識及び技能】 疑問詞で始まる節、ifで始まる節を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 疑問詞で始まる節、ifで始まる節を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 各国の伝統舞踊について、その違いや文化との結びつきについて考えさせる。	・ことわざや言語表現の国による違いを知る。 ・疑問詞で始まる節、ifで始まる節を理解する。 ・ことわざや言語表現についてやりとりする。	・ことわざや言語表現について、聞いて概要を把握できる。 ・ことわざや言語表現について、読んで概要を把握できる。 ・ことわざや言語表現について、話して伝え合うことができる。 ・疑問詞で始まる節、ifで始まる節を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
[Quokka] 【知識及び技能】 使役動詞、知覚動詞を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 使役動詞、知覚動詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 絶滅危惧種のクオッカを通じて、自然環境について理解を深める。	・絶滅危惧種のクオッカを通じて、自然環境について知る。 ・使役動詞、知覚動詞を理解する。 ・自然環境についてやりとりする。	・絶滅危惧種のクオッカや自然環境について、聞いて概要を把握できる。 ・絶滅危惧種のクオッカや自然環境について、読んで概要を把握できる。 ・絶滅危惧種のクオッカや自然環境について、話して伝え合うことができる。 ・使役動詞、知覚動詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	10
[Designing Stamps] 【知識及び技能】 形式主語it、形式目的語itを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 形式主語it、形式目的語itを用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 玉木氏の職業への意識と切手デザインを通じた文化の紹介について考えさせる。	・玉木氏の職業への意識と切手デザインを知る。 ・形式主語it、形式目的語itを理解する。 ・職業と文化についてやりとりする。	・職業と文化について、聞いて概要を把握できる。 ・職業と文化について、読んで概要を把握できる。 ・職業と文化について、話して伝え合うことができる。 ・形式主語it、形式目的語itを用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1

1学期

2 学期	<p>[Mont-Saint-Michel] 【知識及び技能】 現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 モンサンミッシェルの景観を守るための取り組みを考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産をとりまく歴史と環境について学び、その継承について知る。 現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形を理解する。 モンサンミッシェルの景観を守るための取り組みについてやりとりする。 	<ul style="list-style-type: none"> モンサンミッシェルの景観を守るための取り組みについて、聞いて概要を把握できる。 モンサンミッシェルの景観を守るための取り組みについて、読んで概要を把握できる。 世界遺産をとりまく歴史と環境について、話して伝え合うことができる。 現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。 					10	
	<p>[Smart Agriculture] 【知識及び技能】 現在完了の受け身、助動詞+受け身を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了の受け身、助動詞+受け身を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 スマート農業に用いられる先端技術を通じて、未来の農業について考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> スマート農業について知る。 現在完了の受け身、助動詞+受け身を理解する。 先端技術を用いた社会的課題の解決についてやりとりする。 	<ul style="list-style-type: none"> スマート農業について、聞いて概要を把握できる。 スマート農業について、読んで概要を把握できる。 先端技術を用いた社会的課題の解決について、話して伝え合うことができる。 現在完了の受け身、助動詞+受け身を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。 					10	
	定期考査			○	○			1	
2 学期	<p>[A Martial Art on Tatami] 【知識及び技能】 関係代名詞の非制限用法、関係代名詞whatを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 関係代名詞の非制限用法、関係代名詞whatを用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 競技かるたを通して、日本文化について考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 競技かるたを通して日本文化を知る。 関係代名詞の非制限用法、関係代名詞whatを理解する。 日本文化についてやりとりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 競技かるたについて、聞いて概要を把握できる。 競技かるたについて、読んで概要を把握できる。 競技かるたについて、話して伝え合うことができる。 関係代名詞の非制限用法、関係代名詞whatを用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。 	○	○	○		10	
	<p>[Biologging] 【知識及び技能】 分詞構文、強調構文を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞構文、強調構文を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 バイオリギングの研究を通して動物や自然環境について考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> バイオリギングの研究を知る。 分詞構文、強調構文を理解する。 動物や自然環境についてやりとりする。 	<ul style="list-style-type: none"> バイオリギングについて、聞いて概要を把握できる。 バイオリギングについて、読んで概要を把握できる。 動物や自然環境について、話して伝え合うことができる。 分詞構文、強調構文を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。 	○	○	○		10	
	定期考査			○	○			1	
3 学期	<p>[The Open Window] 【知識及び技能】 文章に含まれる文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の会話やその意図、物語の展開について考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 物語の内容を知る。 文章に含まれる文法事項を理解する。 物語の内容についてやりとりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語を聞いて概要を把握できる。 物語を読んで概要を把握できる。 登場人物の会話やその意図、物語の展開について、話して伝え合うことができる。 文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。 	○	○	○		5	
	<p>[The Christmas Truce] 【知識及び技能】 文章に含まれる文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の会話やその意図、物語の展開について考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 物語の内容を知る。 文章に含まれる文法事項を理解する。 物語の内容についてやりとりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語を聞いて概要を把握できる。 物語を読んで概要を把握できる。 登場人物の会話やその意図、物語の展開について、話して伝え合うことができる。 文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。 					5	
	<p>[My Dream] 【知識及び技能】 文章に含まれる文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 野口氏が子供のころに書いた作文の内容について考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作文の内容を知る。 文章に含まれる文法事項を理解する。 物語の内容についてやりとりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 作文を聞いて概要を把握できる。 作文を読んで概要を把握できる。 野口氏が子供のころに書いた作文について、話して伝え合うことができる。 文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。 					5	
定期考査			○	○			1	合計	100

都立拝島高等学校 令和5年度(1・2学年用)

教 総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間

科目： 総合的な探究の時間

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1 組：由良)

(2 組：佐藤)

(3 組：日野)

(4 組：吉岡)

(5 組：若菜)

(6 組：猪俣)

(7 組：原田)

使用教科書： ()

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。

【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準				配 当 時 数
			知	思	態		
1 学 期	A 遠足事前指導	・遠足についての事前学習					○ 3
	B 体育祭練習	・体育祭の意義を理解する。 ・集団行動、協調性とは何かを理解する。 ・自己の役割と責任について理解する。					○ 5
	C 清流祭企画準備	・文化行事の意義を知る。 ・集団行動、協調性の大切さを理解する。 ・自己の役割と責任について理解する。					○ 8
	地球規模の課題である気候変動について、大きな影響を受ける世代である現代の高校生が、課題を自分ごととして捉え、主体的・協働的に学び、行動につなげる。	気候変動に関する探究					○ ○ ○ 2
2 学 期	C 清流祭企画準備	・文化行事の意義を知る。 ・集団行動、協調性の大切さを理解する。 ・自己の役割と責任について理解する。					○ 3
	D 進路	進路に対する意識を高める。					○ 2
	地球規模の課題である気候変動について、大きな影響を受ける世代である現代の高校生が、課題を自分ごととして捉え、主体的・協働的に学び、行動につなげる。	気候変動に関する探究					○ 2

